

1 否定その1

<書き下し文・意味>

<句法解説>

- | | | |
|----------------------|---|-----------------------------|
| (1) あたはざる | 応ふる能はざるなり (答えることができなかった) | 弗は、否定の句法。「～ず」と読み、「～しない」と訳す。 |
| (2) ちからたらず | 食飽かざれば、力足らず (食糧が十分ではないため、力も十分発揮できない) | 不は、否定の句法。「～ず」と読み、「～しない」と訳す。 |
| (3) ゆくものはおはず | 往く者は追はず、来たる者は拒まず (去っていくものは追わない、来るものは拒まない) | 不は、否定の句法。「～ず」と読み、「～しない」と訳す。 |
| (4) ぼんにかえらず | 覆水盆に返らず (こぼれた水はもとの容器には戻らない) | 不は、否定の句法。「～ず」と読み、「～しない」と訳す。 |
| (5) あかつきをおぼえず | 春眠暁を覚えず (春の眠りは心地よく夜明けにも気付かないほどだ) | 不は、否定の句法。「～ず」と読み、「～しない」と訳す。 |

2 否定その2

- | | | |
|-----------------------|---------------------------------------|--------------------------------|
| (6) あしなし | 蛇固より足無し (蛇にはもともと足がない) | 無は、否定の句法。「～なし」と読み、「～がない」と訳す。 |
| (7) わがこじんにあらずや | 若は吾が故人に非ずや (おまえは私の旧友じゃないか) | 非は、否定の句法。「～にあらず」と読み、「～でない」と訳す。 |
| (8) しんなくんばたたず | 民信無くんば立たず (民から政治への信頼がなくなれば、社会は成立しない) | 無は、否定の句法。「～なし」と読み、「～がない」と訳す。 |
| (9) とほすものなきなり | 能く陥すもの莫きなり (突き通すことができるものはない) | 莫は、否定の句法。「～なし」と読み、「～がない」と訳す。 |
| (10) わがねがひにあらず | 富貴は吾が願ひに非ず (富むことや身分の高いことは私の望むところではない) | 非は、否定の句法。「～にあらず」と読み、「～がない」と訳す。 |



【アプリ版のご紹介】古文・漢文

古文・漢文を学習中の中学生、高校生必見！定期試験とセンター試験に頻出の「古文単語」「古典文法」「漢文」を、完全に無料で学べるアプリが登場！！



【オマケの一題】

中学社会 地理・歴史・公民

本会議を開くために必要な議員数は、総議員の何分の何以上？

(A) 4分の1 (B) 3分の1 (C) 2分の1 (D) 3分の2